

2025
AUTUMN

奉行 EXPRESS

The Magazine for OBC Members

読者アンケート
に答えて
プレゼントGET
抽選で**100名様**
に当たる!

〈特集〉

奉行クラウドでもAIが使えます!

具体的な実務でのAI活用術を紹介

業務プロセスを支援・代行する
2つの奉行AIエージェントが新リリース



業務アプリが作れて 奉行クラウドと連携できる

kintone キントーン



AIで
さらに
便利に!

導入社数
37,000社
以上※

※2025年1月末時点

ノーコードで 業務アプリをつくらう

キントーンは、**業務アプリ**が**つくれる**、**サイボウズのノーコードツール**です。
表計算ソフトよりも**快適**に、専門システムよりも**柔軟**に、自社でシステムを開発するより**スピーディー&低コスト**に、業務改善をシュシュッとすぐに実行できます。



ここが
スゴイ
01

紙・Excel・社内メールなど…
社内共有や転記の手間を
キントーンでなくせる!

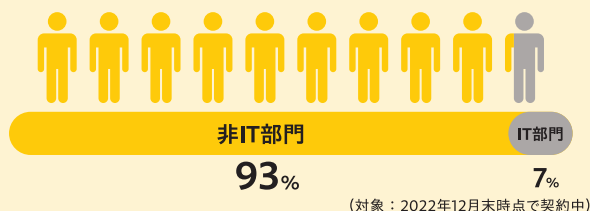
ここが
スゴイ
02

キントーン上の情報を
奉行クラウドへ**自動連携**



導入担当者の93%が非IT部門

専門的なスキルや知識がなくても、
業務にフィットした業務アプリをつくれます。



業務課題を次々に解決できる

顧客案件管理から、交通費申請、日報など
幅広い業務を改善できます。

作成できる業務アプリの例



料金：月額**1,800**円(税抜) / 人 | 初期費用：**無料**

※10ユーザーからご契約いただけます。1ヶ月単位で契約が可能です。※奉行クラウド連携はkintoneスタンダードコース以上をご契約のお客様がご利用いただけます。

セミナー開催!お気軽にご参加ください

基本が分かる!活用イメージが浮かぶ! はじめての方向けkintone紹介セミナー ▶



2

特集

奉行クラウドでもAIが使えます!

具体的な実務でのAI活用術を紹介

6

特集

業務プロセスを支援・代行する 2つの奉行AIエージェントが 新リリース

8

奉行クラウド導入事例 東京都港区・トランスニュークリア株式会社

10

奉行クラウド導入事例 広島県広島市・株式会社文華堂

12

皆様の声から生まれた!

奉行クラウドアップデート機能のご紹介

ユーザーの皆様のご意見、ご要望、お困り事をアップデートで改善しています!

中綴じ別冊ファイル 保存版 奉行ワンポイント講座

17

クイズで学ぼう! いまさら聞けないビジネスワード

18

プロフェッショナルひろば 社会保険労務士法人ロイヤル総合研究所 森崎 和敏氏

20

特別連載コラム 未来をつくる職場改革(第3回)

22

スキルアップポイント アンコンシャス・バイアスへの気づき

24

スキルアップポイント 中小企業経営強化税制の見直しと延長

26

特別連載コラム 経理の羅針盤～実務のヒント～(第3回)

28 食べて楽しむ 脳に喝! レシピ&テーブルゲーム

29 頭のストレッチ(楽器のアロークロス)

30 身につけたい 現代人の基礎知識 “働く”をよく知るための「労働経済学」

32 基本を極める ビジネスの心得

33 読者の声、プレゼント付きアンケート告知 他

OBC NETWORK

東京支店 TEL 03-3342-1870(代)
〒163-6030
新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー30F

大阪支店 TEL 06-6367-1101(代)
〒530-0018
大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F

名古屋支店 TEL 052-589-8930(代)
〒450-6325
名古屋市中村区名駅1-1-1 JPTower名古屋25F

札幌支店 TEL 011-221-8850(代)
〒060-0003
札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル10F

仙台支店 TEL 022-215-7550(代)
〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー20F

関東支店 TEL 048-657-3426(代)
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町1-11-20 大宮JPビルディング12階

横浜支店 TEL 045-227-6470(代)
〒220-0011
横浜西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング15F

静岡支店 TEL 054-254-5966(代)
〒420-0857
静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワールド静岡ビル5F

金沢支店 TEL 076-265-5411(代)
〒920-0031
金沢市広岡3-3-11 JR金沢駅西第四NKビル10階

広島支店 TEL 082-544-2430(代)
〒730-0031
広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング4階

福岡支店 TEL 092-263-6091(代)
〒812-0039
福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE 9F



東北の伝統文化支援と地域貢献の一環として

青森の夏を象徴する大規模な伝統行事「青森ねぶた祭2025」。

OBCは「青森市PTA連合会の素戔鳴尊(すさのおのみこと)の大蛇退治」の大型ねぶたの前で、「勘定奉行前ねぶた」を運行いたしました。



動画は
こちらから



<https://www.youtube.com/watch?v=TciYZo36xZo>

奉行クラウドでも AIが使えます!

具体的な実務でのAI活用術を紹介



AIで業務をラクに。まずは使ってみましょう

2023年にChatGPTが一般化して以来、生成AI(人工知能)について耳にすることが増え、私たちの生活にも急速に広がっています。試しにAIに文章や画像を作ってもらい、「これはすごい」と便利さを実感された方も多いのではないのでしょうか。あるいは、スマホで質問をしたらAIが答えてくれるなど、知らず知らずのうちに、その恩恵を受けているケースも少なくないでしょう。

そうしてAIが日常化する中、総務・経理の担当者も「実務でAIが使えたらいいのに」「AIを活用して業務の省力化、自動化を図ってみたい」と考える機会が増えているのではないのでしょうか。

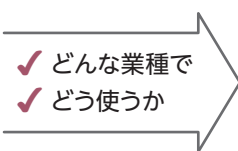
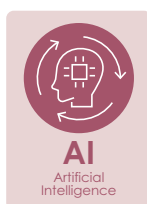
今後、人手不足でそれぞれの担当者の負荷が大きくなることも予想されます。まずは、AIを使って業務をラクにしてみませんか。



奉行クラウドでAIを始めてみませんか?

「業務でAIを使ったら便利そう」——。そう思っている方々に、お伝えしたいことがあります。実は、奉行クラウドにはAIが標準機能として装備されているのです。2024年10月に提供を開始した対話形式で業務を支援する「奉行AIチャット」にプラスして、2025年4月からは、仕訳伝票処理や元帳作成、社員情報管理にもAIが実装されています。追加の設定や特別な操作は必要なく、奉行クラウドを導入している企業であれば、すぐに使い始めることができます。従来自身が行ってきた処理をAIに肩代わりしてもらうことができ、業務が便利に、効率的に、楽になり、仕事の負荷が少なくなるとともに、スピードが格段に速くなります。

ただし、いざ「奉行クラウドのAIを試してみよう」と思い立っても、どのように使ったらよいのか、イメージしにくいという担当者も多いでしょう。「実際に本当に役に立つのか」と疑問視する声もあるかと思います。そこで、考えたいのが、「どんな業務で」「どう使うか」という具体的なシナリオを想定して活用していくことです。そうして、業務の一部に少しずつAIを組み込み、それをルーチンにすることによって、徐々に仕事の省力化を実現していくというのが、現実的なアプローチです。ぜひ、業務の流れや目的に応じた使い方を知って、そのシナリオを自社の実務に照らし合わせることで、自然な形でAIを取り入れていきましょう。



シナリオが
重要



その業務、奉行クラウドのAIにお任せください!

本特集では、どの業務でどのように活用していけばよいのかについて、6つの具体的なシナリオを提示し、総務や経理の担当者が“業務のAI化”をイメージできるように丁寧に解説していきます。それぞれのシナリオを参考に、ぜひ、奉行クラウドのAIを試しに使うことから始めてみてください!

●実務で使える奉行クラウドのAI活用術 6選

1	【仕訳提案AI】	過去の伝票を参考にAIが仕訳を登録	➡ P3
2	【異常値検出AI】	日々の伝票チェックをAIが自動検知	➡ P3
3	【帳票提案AI】	月次報告書などEXCEL帳票をAIが再現して出力	➡ P4
4	【給与ミス防止AI】	AIによるマスター整備で給与支給ミスを防止	➡ P4
5	【勤怠集計ミス防止AI】	AIによるマスター整備で勤怠集計ミスを防止	➡ P5
6	【社員検索AI】	見つけたい社員の条件でAIが社員を自動抽出	➡ P5

実務で使える活用術

1 過去の伝票を参考にAIが仕訳を登録

毎月定例で発生する仕訳(例:家賃、水道光熱費等)の起票においては、過去の伝票を検索・複写し、日付や金額を修正して登録する作業が必要となります。このようなシーンでは、AIを活用することで、該当伝票の抽出や入力作業の効率化が図れます。

こんなシーンでAIを活用!

<毎月定例の仕訳を同じ形式で起票する>

- 家賃の引落を前月分の仕訳を複写し、日付を変えて起票している
- 毎月の水道光熱費は前月分を複写して金額を変えて起票している



具体的なAI活用シナリオ

毎月定例の仕訳を起票するために、AIに指示して今月の家賃の引き落としの仕訳を起票してもらおう。

AIに「先月の家賃引き落としの伝票を複写したい」と伝えるだけで、AIが該当する仕訳を検索し、今月分として自動で起票してくれます。検索条件を設定することなく、伝票の検索から起票までを効率的に行うことができます。

指示に沿ってAIが仕訳を探し出します

先月の家賃引き落としの仕訳を複写したい

2025/09/29 14:06

以下の条件を生成しました。

- ・ 伝票日付 25年 8月 1日 ~ 25年 8月31日
- ・ 伝票出力順 伝票日付の新しいものから表示
- ・ 摘要 家賃引き落とし 含む

25年 8月20日の仕訳伝票が 1 件見つかりました。

借方	貸方
地代家賃 440,000	普通預金 440,000

検索結果の仕訳を仕訳入力画面に挿入します。

仕訳を挿入(I)

または、【仕訳帳】メニューで確認できます。

仕訳帳で確認(V)

仕訳伝票入力

新規 日常仕訳 通常伝票 証書を添付 添付ファイルを選択

伝票日付 25年 9月20日 伝票No.

もとのまま やり直し すべての付録をはがす

行	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額
1	092 経理		092 経理	
	751 地代家賃	440,000	111 普通預金	440,000
		10%	001 東都中央銀行本店	(40,000)

探し出した伝票をもとに自動起票

実務で使える活用術

2 日々の伝票チェックをAIが自動検知

※搭載予定

業務終了時などに定期的に伝票内容の確認を行う際には、帳簿や伝票リストを印刷し、目視でチェックする作業が必要です。このような日々の伝票確認業務において、AIを活用することで、確認作業の効率化と精度向上が期待できます。

こんなシーンでAIを活用!

<定期的に伝票内容に誤りがないかチェックしている>

- 一日の終わりにその起票した伝票リストを印刷して確認している
- 特定科目のみなど、毎月決められたルールに基づき伝票をチェックしている



具体的なAI活用シナリオ

一日の終わりにAIから通知されている本日時点までの異常値(=間違いの可能性が高いもの)を確認し、修正する。

起票ミスを防ぐため、AIが登録済みの伝票から異常値やミスの可能性がある仕訳を自動検知し、修正案まで提示します。これにより、誤った伝票のリストアップや修正作業が軽減され、業務の正確性も向上します。

サルート

仕訳伝票の確認

自己入力分 2件

チェック対象の仕訳伝票

自己入力分 2件

日々の伝票からAIが異常値を検知してお知らせします

取得価額が10万円未満の固定資産の資産計上がないかをチェックします

修正前

部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	部
[伝票日付] 25年 4月10日		
1 001 第一営業部		001 第一
205 工具、器具及び備品	課仕入 80,000	315 未払
	10% (7,272)	

10万円未満で資産計上しているため、費用科目の修正案を提示してくれます

修正後

部門 / 勘定科目 / 補助科目	金額	部
[伝票日付] 25年 4月10日		
1 001 第一営業部		001 第一
742 消耗品費	課仕入 80,000	315 未払
	10% (7,272)	

実務で使える活用術

3

月次報告書などExcel帳票をAIが再現して出力 ※搭載予定

毎月の報告書作成においては、販売管理システムや会計システムからデータを出力し、Excelで集計・加工する作業が発生します。AIを活用することで、出力したい形式ですぐに報告書を作成できるようになります。

こんなシーンでAIを活用!

<Excelを加工して報告書を作成している>

■ 経営会議に提出する報告書は、システムから出力したExcelを加工して作成している



具体的なAI活用シナリオ

販売管理システムから出力した得意先別の売掛金残高一覧表を会計システムに取り込んで、会計システムから該当帳票を出力する。

売掛金残高一覧表のファイルをAIに取り込むことで、AIが帳票を解析し、勘定奉行クラウドで出力可能なメニューとレイアウトを提示してくれます。これにより、報告書の集計や加工が不要になり、同様の帳票をすばやく作成できます。

ExcelやPDFファイルを読み込み



添付の帳票が見られるメニュー教えて

人 売掛残高一覧表.pdf

添付の帳票は取引先ごとの売掛金の金額を集計している帳票のようです。

取引先補との金額が見られるメニューは以下の通りです。

- ・[取引先内訳表]メニュー
- ・オリジナル帳票

お好みのレイアウトを選択してください。

電帳法第6条第1項

集計期間

④ 自 2025年 4月 1日 ⑤ 至 2025年 3月 31日 ③

勘定科目

⑥ 135 売掛金 ⑦

取引先名

	前期末	増減	当期末	残高
太平洋販売株式会社	494,960,823	45,851	2,300,007	497,214,979
株式会社新平産業	172,444,135	9,320	20,000	172,454,815
株式会社安城電機	156,982,530	2,138	30,000	157,010,392
群馬商事株式会社	320,152,138	5,890	32,015	320,178,263
埼玉商事株式会社	-1,044,577,583	2,329	1,044,577	-1,043,535,326
株式会社千歳デンキ	-85,913,724	42,834	85,988	-85,870,570
東京商事販売株式会社	-5,872,627	11,291	5,872	-5,878,046
神奈川物産株式会社	-130,926,385	3,722	1,309,263	-129,620,844
新潟工業株式会社	156,982,530	2,138	30,000	157,010,392
石川販売株式会社	320,152,138	5,890	32,015	320,178,263
名古屋電機商事株式会社	-1,044,577,583	2,329	1,044,577	-1,043,535,326
大田商事株式会社	-85,913,724	42,834	85,988	-85,870,570
梅田商事株式会社	-5,872,627	11,291	5,872	-5,878,046
京都システム株式会社	-130,926,385	3,722	1,309,263	-129,620,844
株式会社北藤田屋	156,982,530	2,138	30,000	157,010,392
テック環境株式会社	320,152,138	5,890	32,015	320,178,263

株式会社福岡屋

鹿児島文庫

高松理容店株式会社

156,982,530

320,152,138

5,890

32,015

320,178,263

42,834,189

⑧ Aが帳票を解析し、該当メ

AIが帳票を解析し、該当メニューからレイアウト設計された帳票を出力できます。

実務で使える活用術

4

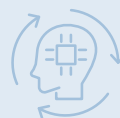
AIによるマスター整備で給与支給ミスを防止

給与の手当計算を自動化する際、試行錯誤しながらシステムに設定しており、また、設定不備による支給ミスが発生する場合があります。AIを活用することで、条件に基づいた設定が自動化され、支給ミスの防止を実現します。

こんなシーンでAIを活用!

<Excel等で行っている手当計算を自動化する>

- 計算式の組み方を自力で検討している
- サポートセンターへ問い合わせして設定している



具体的なAI活用シナリオ

家族(扶養)手当を自動計算できるようにするために、AIに「配偶者がいたら10,000円、同居している扶養親族一人につき5,000円」と指示して計算式を設定する。

AIに「配偶者がいたら10,000円、同居している扶養親族一人につき5,000円」と入力するだけで、条件をもとに計算式を自動生成します。また、条件に応じた試算も同時に行うため、計算式が正しい内容なのか事前に確認もできます。

計算式 - 実行AIアシスタント

AIガイドライン

支給 4「家族手当」に対する計算式の作成を支援します。

入力例を参考に、作成したい計算式の内容を文章で入力してください。

区分などの固定の値や範囲ごとに決まった表で支給額を設定したい場合は、事前に[計算式テーブル]メニューで作成してください。

配偶者がいたら10,000円、同居している扶養親族一人につき5,000円

支給 4「家族手当」に以下の計算式を生成しました。

結果

条件式 [《配偶者の有無》=1, 10000, 0] + 扶養親族人数 {《人数同居区分》=1} × 5000

説明

配偶者がいる場合は10,000円、同居している扶養親族一人につき5,000円を加算します。

※扶養親族人数は配偶者を含まない人数です。

補足リンク

・扶養親族人数を組み込んだ計算式

適用(A)

AIが条件をもとに計算式を自動生成します

実務で使える活用術

5 AIによるマスター整備で勤怠集計ミスを防止

勤怠集計の自動化を進める際、システム設定に試行錯誤が伴い、試算に時間がかかるほか、設定不備による集計ミスも発生しがちです。AIを活用すれば、設定内容に基づく自動試算が可能となり、集計ミスの防止につながります。

こんなシーンでAIを活用!

<設定内容に基づき正しく勤怠集計されるのか試算・検証する>

- 残業時間等、正しく集計されているのか自力で確認している
- 正しく時間が集計されないの、サポートセンターに問い合わせして確認している



具体的なAI活用シナリオ

残業申請があった場合のみ残業時間を計算するように設定されているのかを確認するために、AIに「出勤9:00 退勤19:52」で試算するように指示し、意図しない結果の場合、修正内容を確認する。AIに「普通残業時間を出勤9:00 退勤19:52」で試算するように指示すると、設定内容に基づいて残業時間を試算します。意図しない結果の場合、AIに修正したい内容を伝えることで、設定内容を修正して教えてくれます。

勤務体系AIアシスタント

事由・時刻

事由: []

出勤時刻: 9:00

退勤時刻: 19:52

勤務時間の計算結果

項目追加

出勤時間: 7時間45分

普通残業時間: 2時間07分

深夜残業時間: []

法定内残業時: 0時間15分

法定外残業時: 1時間52分

普通残業時間: 2時間07分

休憩時間: 1時間00分

総労働時間: 9時間52分

有休時間: []

時間有休: []

AIが指定した出勤と退勤時間で残業時間を試算

申請条件

2025/09/29 14:30

以下の修正内容を生成して左側の画面に反映しました。

生成内容

- ・[残業時間]ページ-「普通残業時間」の申請条件「申請を必要とする」

補足リンク

AIが設定内容を確認し、修正します

実務で使える活用術

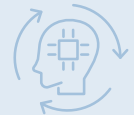
6 見つけたい社員の条件でAIが社員を自動抽出

特定の条件を満たす社員を見つけるには、人事システム上で条件を設定して確認したり、Excel等の名簿から探し出す作業が発生します。このような抽出業務において、AIを活用することで、対象者を迅速かつ正確に抽出することができます。

こんなシーンでAIを活用!

<条件に該当する社員を確認する>

- 人事システムで社員を抽出する条件を設定し、該当社員を確認している
- Excelなどの社員名簿で該当社員を確認している



具体的なAI活用シナリオ

条件に該当する社員を確認するために、AIに「所属が東日本営業課で年齢が30歳以上の社員」と指示をして社員を抽出する。AIに見つけたい社員の条件として「所属が東日本営業課で年齢が30歳以上の社員」を入力するだけで、検索条件を設定することなく、該当社員をリストアップします。検索条件の設定にかかる手間を省きながら、必要な社員をすぐに確認できます。

検索したい社員の条件を入力してください。

例) 勤続年数が10年になる社員
そろそろ育休が終了する社員 など

所属が東日本営業課で年齢が30歳以上の社員

見つけたい社員の条件を入力するとAIが自動でリストアップします

社員番号	氏名	所属	役職	年齢
合計	5名			
営業部	5名			
東日本営業課	5名			
100000	山田 一朗	営業部 東日本営業課	課長	43歳 0ヵ月
100005	麻田 徳治	営業部 東日本営業課	主任	33歳 7ヵ月
100014	山川 静夫	営業部 東日本営業課	一般	63歳 7ヵ月

新リース会計基準適用に向けた最難関をAIがサポート!
『リースの識別』を迷わず最短で解決する

2025年
8月
新リリース

奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド

2027年4月1日以後に開始する事業年度の期首より強制適用が始まる『新リース会計基準』。その適用に向けた準備の中で、契約書ごと
にリースを含む取引か否かを判断する「リースの識別」業務は、多くの企業が直面する最大の課題となっています。膨大な契約書の確認や
専門的な判断が求められるため、担当者にかかる業務負担は非常に大きく、属人化もしやすい業務です。こうした状況の中、『奉行AIエー
ジェント 新リース会計識別クラウド』は、お客様のリース識別業務をAIでサポートし、業務時間の大幅な削減と、属人化の防止を実現します。

適用にむけ必須となる『リースの識別』、こんなお悩みございませんか？

お悩み 1 対象となる契約書が多すぎて 識別作業に膨大な時間がかかる

リースかどうかを判断するには「資産の特定が可能か」「経済的利
益のほとんど全てを得る権利を有しているか」「
「資産の使用方法を指図する権利を有してい
るか」の要素をもとに判断します。契約書の
内容は契約ごとに多様なため、1件ずつ精査
が必要となり膨大な作業時間が発生します。



お悩み 2 識別の判断や根拠にミスが ないかどうか不安…

判断基準が複雑なこと、解釈の余地で判断
が分かれるケースもあるため誤認がないよ
う注意が必要です。
財務諸表にも影響しますので、担当者には慎
重な業務が求められます。作業時間による負
担だけでなく、心的負担も大きくなります。

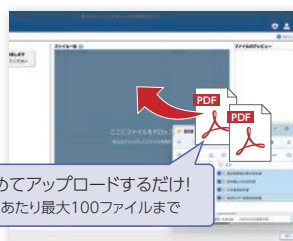


リース識別業務におけるお悩みを瞬時に解決

特長 1 契約書をアップロードするだけで、内容をAIが解析 アップロードされた契約書の内容から契約に“リースが含まれるか否か”を判断

契約書データをドラッグ&ド
ロップでアップロードするだけ
で、AIが3つの識別要素をもと
に、契約にリースが含まれてい
るかどうかを自動判定。
担当者の確認作業を
大幅に削減します。

まとめてアップロードするだけ!
※1回あたり最大100ファイルまで



No.	ファイル名	処理状況
1	運送業務委託基本契約書.pdf	AI識別完了
2	給茶機レンタル契約書.pdf	AI識別完了
3	広告看板契約書.pdf	AI識別完了
4	物流センター賃貸借契約書.pdf	AI識別完了

Point

以下の3要素をもとに
AIがリースを識別

- ①「資産の特定が可能か」
- ②「経済的利益のほとんど全て
を得る権利を有しているか」
- ③「資産の使用方法を指図する
権利を有しているか」

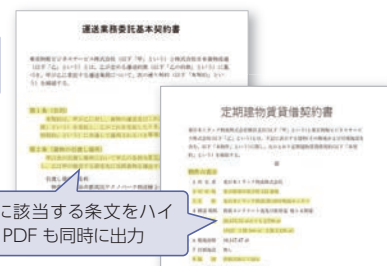
特長 2 識別結果とその根拠となる条文を一覧で可視化 一覧化した資料は監査法人との照会に利用

識別根拠を一覧で可視化できるため、
監査法人との照会にも活用が可能で
す。会計基準に照らし合わせて判断が
適切かどうかを確認する際の資料とし
て利用できます。



識別根拠となる条文を
抽出・一覧化

識別根拠に該当する条文をハイ
ライトした PDF も同時に出力



『新リース会計識別クラウド』で実現するリース識別対応業務を体感してみませんか？

無料でお申込みいただける動画コンテンツ&ショートデモをご用意!



5分で体感!
製品ご紹介動画!

- ✓ まずは簡単な概要を映像で体感してみたい
- ✓ 細かな運用ではなく「何ができるか」を知りたい



実現で体感! デモンストレーター
によるショートデモ!

- ✓ システムの具体的な運用画面や操作を見てみたい
- ✓ 一方的な紹介ではなく、対話形式で質問したい



AIエージェントが新リリース

子会社のデータ収集から合算、経営分析まで、
連結会計業務のプロセスをAIが支援する

2025年
10月末
リリース
予定

奉行AIエージェント 連結会計支援クラウド

上場・非上場問わず、グループ会社を持つ企業にとって、グループ全体の財務状況を正確に把握するための連結会計業務は非常に重要な業務です。業務の手順が複雑で難易度も高いため、多くの企業で属人化している実態があります。そのような中、『奉行AIエージェント 連結会計支援クラウド』は、お客様の利用状況から連結会計業務に必要な手順を提案し、AIが支援することで誰でも迷わず連結会計業務を行えるようになります。

連結会計業務における3つの悩みをすべて解決

お悩み
1

手順が複雑で進捗がわかりづらい

利用状況に合わせてAIが業務手順をアシスト
さらに業務のステップをボタン1つで自動実行
子会社からのデータ収集状況や、内部取引の照合状況
など、お客様が利用中のデータをAIが分析し、次に進める
ステップを提案してくれます。また、必要な操作はボタン
1つでAIが実行し、レポートを出力してくれるため、複雑
な業務をだれでも迷わずに実行できます。



開始ボタンを押すだけで、AIエ
ージェントがステップに合わせて業
務を自動で進めていきます。

お悩み
2

内部取引の調整に時間がかかる

内部取引を明細レベルでAIが自動マッチング
相殺仕訳も手入力不要に

グループ企業間の取引を明細単位でAIが自動マッ
チングします。差額がある場合は原因追及もAIが分
析してくれるため、膨大なデータから差額原因を探
す手間が大幅に削減されます。また、相殺仕訳も自
動化できるため、手間なくかんたんに内部取引の調
整が完了します。

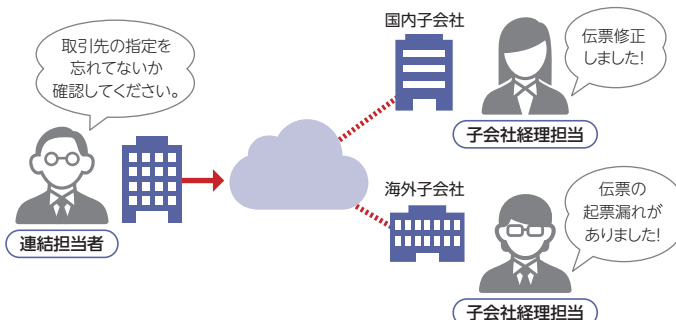
子会社ごとの会計
データから内部取
引をAIが自動で突
合します。突合され
ない明細データか
ら差額の原因究明
がスムーズに行え
ます。

お悩み
3

子会社とのやり取りが大変

国内も海外も、かんたん集約
スムーズなコミュニケーションを実現

国内はもちろん、海外法人の会計データも集約・
合算することができます。また、勘定奉行クラウドや、海外現地法人会計に対応した勘定奉行ク
ラウドGlobal Editionをご利用いただいている
法人*であれば、会計データをリアルタイムに確
認しながら業務を行えます。*対応予定



奉行AIエージェントを見てみたい方は、まずはお気軽にお問合せください!

サービスの詳細やご利用料金なども含めて、専任の担当者が
丁寧にご説明します。少しでもご興味がありましたらお気軽に
お問合せください。



0120-121-250

10:00~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

10年以上利用したERPシステムがいよいよサポート終了へ 標準化を目指す、カスタマイズをどう継承するかが難題に

トランスニュークリア株式会社 企画管理部 部長 沖川 英雄氏



財務会計システム

勘定奉行 **ERPクラウド**
[個別原価管理編]



主要業務であるキャスクの製造関連業務は、原子力発電所の運営会社などからのオーダーに応じて個別に設計や製造管理を進めるため、会計上はプロジェクトごとに個別原価計算を行うことが必須です。常時、約50案件が同時並行で推進され、日次・月次・年次の会計業務は、10年以上前に導入したERPパッケージで対応していました。

ただし、当社はニッチな領域に特化したものづくりを行っているため、自社ならではの独自業務に合わせて、ERPシステムを個別開発してカスタマイズする必要がありました。実際、旧システムは、各オーダーに応じたオーダー番号を含むプロジェクトマスター登録、調達契約情報入力、労務費管理、プロジェクト別管理帳票、親会社への報告のため英語にも対応した決算資料作成など、数多くの機能を追加開発・実装していました。

そんな中、伝えられたのが、ERPシステムのサポート終了です。同時に販売代理店から提案されたのが、「従来のようにオンプレミス型ではなく、クラウド型のシステムを導入すること」でした。当社でも、これを機にカスタマイズの必要性や今後のシステムのあり方について考え、導入・運用コストの削減や利便性の向上が将来に渡り期待できるクラウド型は非常に魅力的に感じました。

しかし、懸念点は、果たしてクラウド型で当社の数多くの個別開発で追加した機能を再現できるかということです。当初、「当社のような特殊な業務をクラウドで行うことは難しいのでは」というのが第一印象でした。そうした疑問も抱えながら、当社はオンプレミス型か、クラウド型かの2者択一で検討を進めていったのです。

ド型のシステムを導入すること」でした。当社でも、これを機にカスタマイズの必要性や今後のシステムのあり方について考え、導入・運用コストの削減や利便性の向上が将来に渡り期待できるクラウド型は非常に魅力的に感じました。



トランスニュークリア株式会社
企画管理部
関 あかね氏

導入の決め手

将来的な運用管理、更改のリスクを回避するため勘定奉行クラウドを選択 カスタマイズ機能はノーコード開発ツール「CELf」による標準化で対応

特殊な業務に応じてカスタマイズしている基幹システムを今後どうしていくのか。検討した結果、当社が選んだ答えが勘定奉行クラウドを導入することでした。導入の決め手となった理由は以下の3点です。

1つ目は、未来の潜在的リスクがクラウドなら回避でき、日進月歩で進化する最新機能を使えることに期待できることです。

当社のバックオフィス業務を一手に担う企画管理部は経理、総務、一般事務など様々な業務を4人という少人数体制で対応しています。そのため、旧システムのカスタマイズ機能のメンテナンスや、オンプレミスであるがゆえに社内を設置しているサーバーの保守や管理は自社では手が回りません。そこで、販売代理店に委託していますが、当然のことながら毎月一定のコストがかかります。クラウド化を行えば、メンテナンス費用やサーバー管理費用がゼロになるため、ランニングコストの低減が可能になります。

また、オンプレミスとなると、またいずれ今回と同じようにサポート終了を迎え、再度システムを入れ替える必要が出てきます。一方、クラウドであればそうした未来の潜在的リスクを回避できます。

さらに、期待できるのが、日進月歩でアップデートされ、最新の機能が使えることです。旧システムではカスタマイズがネックとなり、更新の適用が即時にできないために古い機能を使わざるを得ず、日常業務で不便さを感じる場面も多々ありました。

2つ目は、勘定奉行クラウドとノーコード開発ツール「CELf」を連携することによって独自業務もノンカスタマイズで実現できることです。

クラウド化は大きなメリットが期待できますが、課題は前述の通り、旧システムをカスタマイズすることで実現していた独自業務を、今と同様に実施できるかどうかです。その点において、販売代理店から提案されたのが、

SCSK株式会社が提供するノーコード開発のクラウドサービス「CELf (セルフ)」によって、それらのカスタマイズ機能を置き換えることです。

CELfは、使い慣れたExcelと同等の操作性で入力できる点が特徴で、このツールを使って旧システムの独自機能を代替的に作成するという提案でした。CELfでは、奉行で実施できないあらゆる業務をノンカスタマイズでカバーすることができます。CELfと勘定奉行クラウドをAPI連携することによって、クラウド基盤において自社の基幹システムの標準化を図れる仕組みが構築できるのです。「カスタマイズをせずに、ノーコード開発ツールとパッケージシステムで同じ機能を継承できるのか」という不安はありましたが、「実現可能」という販売代理店の言葉を信頼して託すことにしました。

ポイントとなるのが、現在の実態に即して必要な独自機能だけを選び、CELfで作成することです。個別開発で10年以上前に実装し、当時は有用だったものの今では全く使われなくなった機能もあります。長い年月が経つと、組織や仕事のやり方も変わり、システムが実態にそぐわなくなるケースはあり得ることです。例えば、当社では、調達契約情報入力というカスタマイズ機能が不使用状態だったため、今回のリプレースのタイミングで除く決定をしています。

3つ目は、在宅ワークを推進する経営サイドの後押しです。

当社がテレワークを推奨していることもクラウド化を後押ししました。従来、バックオフィス業務に携わるメンバーも自宅で会計業務の作業を行うことがありましたが、VPNにアクセスして操作すると業務スピードが遅くなることがネックでした。例えば、月次決算のデータをダウンロードするのに30分以上かかることもあったほどです。クラウド化すれば、そうした遅延問題も解消が期待できます。

実は、当社の社長もテレワーク推進の旗振り役を担っている関係で、



■企業概要

トランスニュークリア株式会社

◎所在地…東京都港区新橋1丁目18番16号 日本生命新橋ビル5階

◎URL…<https://www.tntokyo.co.jp/>



1984年創業。放射性物質を輸送・貯蔵する際に使うキャスク(容器)の設計・安全解析・研究開発や調達・販売・製造管理・品質管理などを行う一方で、国際間輸送業務や放射性物質輸送のコンサルティング業務を提供している。

「バックオフィス業務で会社を支えている企画管理部もクラウド化によって在宅ワークを円滑にして働き方改革を行うべき」という考えを表明してい

ました。そうした社長の一声もあり、最終的に勘定奉行クラウドの導入が決まったのです。

導入効果

業務の標準化と、勘定奉行クラウドのきめ細やかな機能で業務スピードが大幅アップ

販売代理店とベンダーは綿密に連携し、結果、勘定奉行クラウドとCELfによる基幹システムのリプレイスに成功しました。今回のクラウド化の案件では、特に以下の3つの点を高く評価しています。

クラウドで標準化しても運用プロセスは変わらず操作もよりスピーディに行えるように

今回の基幹システムのクラウド化で、第一の成果として挙げられるのが、勘定奉行クラウドとCELfをAPI連携させる構成にも関わらず、従来のカスタマイズされた旧システムと画面のみならず、運用プロセスも変わらず、以前と同様にスムーズに業務を行えている点です。例えば、旧システムでは、プロジェクトマスター登録、労務費管理、プロジェクト別管理帳票作成などを個別開発によってカスタマイズしていましたが、それらを勘定奉行クラウド+CELfの組み合わせですべて標準機能として構築を実現しています。

また、システム間の連携がうまく行われており、CELfにデータを入力するとリアルタイムで勘定奉行クラウドに反映されていきます。こうした操作性や連携性には非常に満足しております。

原価管理に不可欠なプロジェクト単位の

仕掛残高一覧表示により業務の正確性と生産性が向上

プロジェクト単位で原価管理を行っている場合、プロジェクトごとの仕掛残高の確認は必須で、残高の有無を把握して管理していくことは経理にとって非常に重要な業務の一つです。旧システムでは、プロジェクト別で個別原価管理を行う中、各案件の製造途中の製品(キャスク)である仕掛品の製造原価を計上する仕掛勘定を確認するには、オーダー番号を一つひとつ打ち込んで会計データを呼び出す必要がありました。それが、新システムでは仕掛勘定が一目で確認でき、いちいちオーダー番号を入力しなくても、一目で仕掛残高が確認できるようになっています。この仕掛勘定の一覧機能によって、見落としや抜け漏れを防ぐことができ、業務スピードも格段に向上しています。

さらに、月1回、月次決算を行うために必要な仕掛勘定データのダウンロード作業も飛躍的に速くなっています。旧システムでは30分以上かかることもあったため、昼休みの間に落とすなど工夫して何とか乗り切っていました。それが今では事前設定不要でボタン一つで行うことができ、ダウンロード自体も即時に完了します。経理にとって忙しい月末こそ、こうしたデータは一刻でも早く入手したいものです。それが勘定奉行クラウドによって実現しているため、月末締め作業も円滑に行うことができている。

●旧システムでは個別開発していた独自業務をノンカスタマイズで標準化



標準機能で構築

- プロジェクトマスター登録
- プロジェクト別管理帳票作成
- 労務費管理

運用プロセスを変えずにスムーズに業務を行える

●仕掛残高一覧表示

導入前



オーダー番号を一つひとつ入力



導入後



一目で仕掛残高が確認できる

見落としや抜け・漏れを防ぎ業務スピードが向上

今後の展望

勘定奉行クラウドを使いこなし、月次決算のさらなる早期化に挑むCELfを使って“素人”が作成する業務アプリで効率化を推進も

現在、会計業務では月次決算のスピードアップを目指しています。親会社からは月次決算書を前月締め日から4営業日以内に提出するように求められており、今回、勘定奉行クラウドの導入で業務スピードが上がることで業務改善に大きく寄与するでしょう。まだ使い切れていない機能も多くあるため、まずは色々なメニューを触って、効率化に結び付けたいと考えています。

その際、活用したいと考えているのがOBCのサポートセンターです。同センターは支援が非常に手厚く、オンラインで問い合わせると、即座に電

話などで対応していただけます。電話中にリモートで当社の画面にログインし、どのように操作するか、見本を見せながら説明していただけるので非常に分かりやすいです。

また、CELfは、ITエンジニアでない我々のような素人でも勉強すれば業務アプリを開発できるユニークなツールです。より業務効率アップを図るために、自ら業務アプリを作成し、基幹システムを補強できればと思っています。



「システムに業務を合わせる」ことで販売管理の業務データが繋がり生産性や従業員満足度の向上も実現

株式会社文華堂 代表取締役 伊東 剛氏

導入製品

販売管理システム
商奉行クラウド

奉行Edge 発行請求書DXクラウド

検討のきっかけ

業務は属人化し、データが繋がらない状態
「クラウド化」と「システムに業務を合わせる」という
2つの視点で業務フローを変えたい



株式会社文華堂
伊東 優子氏

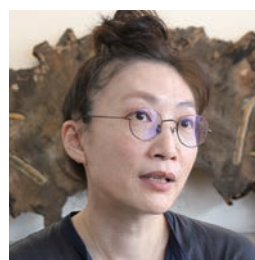
今回のDX化の目的は主に2つです。一つ目は「業務フロー可視化による業務改善」です。当社においては業務が属人化しており業務改善に着手しにくい状態が続いていました。具体的には担当者しか業務がわからない状態だったため、第三者が見た際に今の業務のやり方が正しいのか、そもそもその業務は必要なのか等もわからない状態でした。二つ目は「受注・販売管理の効率化」です。当社では手書きを中心としたアナログなやり方がずっと続いてきており、部署や店舗の間での情報連携においてミスや非効率が発生していました。具体的には店頭で受付した注文内容は印刷指示書に手書きで記録するのですが、この一枚の紙がいわば情報連携の命であり、手書きであるために読み違いが起きた

り、紙の所在が分からなくなってしまうこともありました。また、紙をベースとした管理であったために支店の受注や売上の情報を適切に把握できていない状態でした。こうしたなか、印刷指示書の手書きや紙による情報連携などのアナログなやり方を脱却するためにDX化が必要不可欠と考え始めたのです。

DX化については2つの視点で進めようと考えていました。一つ目が「クラウド化」です。これまでオンプレミスのシステムを使ってきましたが、クラウド化は世の中の当然の流れとも言え、クラウド化することでデータを部署や店舗を越えて自動で繋がられるだけでなく、テレワークなどの柔軟な働き方も実現できるからです。二つ目は「システムに業務を合わせていく」ことです。ここは特に重要な点です。DX化の際には独自のシステムを構築するか、システムを利用するか、どちらかを選択することになりますが、前者の場合は結局のところ「人」に合わせた業務を維持することになり、属人化が解消されません。その一方で後者の場合は標準化された業務のやり方をするために属人化が起きにくく、業務フローも可視化されているため、業務改善も進めやすい。そんな考えがありましたから、自社の業務に合わせてシステムを構築するのではなく、パッケージシステムに自社の業務を合わせることを前提にして、システム選定を始めました。

導入の決め手

販売管理に欠かせない多岐にわたる項目を管理できるのは奉行だけだった



株式会社文華堂
川口 優代氏

今回、6つのクラウド型パッケージシステムのなかから選定したのですが、自社の業務に最もフィットしていたのが奉行でした。当社の場合、取扱商品が多いだけでなく、色や素材など、販売管理において把握しなければならぬ情報が多岐にわたり、多くの管理項目が必要でした。そんななかで奉行だけが唯一必要十分な管理項目を備えていました。ほかのサービ

スを導入したケースをシミュレートしたのですが、その場合は業務のやり方をガラッと変える必要があるだけでなく、管理しきれない項目を管理するための紙やExcelが別途必要になるという結論になりました。そうなれば結局効率化は図れないですし、データもつながらなくなってしまいます。

また、近年はAPIなど便利な機能はあるものの、利用するサービスにおいてもメーカーを極力集約すべきと考えています。というのも、メーカーで操作画面が大きく変わるため、サービスの習得や使いこなしに影響が出るからです。当然同一メーカーのサービスを使ったほうが、習得期間が短く済み、生産性向上を実感しやすいですし、従業員の負担

フローを可視化

株式会社文華堂

◎所在地…広島県広島市中区国泰寺町2丁目5番3号 ◎URL…<https://www.bunka-do.com/>



1968年創業、1979年設立。名刺や印鑑、家系図のほか各種印刷物の制作、印刷を中心に近年ではDX人材の育成を支援するDX学校を手がける。日本中、世界中から広島平和記念公園に届く平和への願いと祈りが込められた折り鶴を回収し、それを『おりづる再生紙』としてリサイクルして様々な価値ある商品を展開していくプロジェクト『おりづる再生プロジェクト』も行う。『創意工夫・技術錬磨・未来創造』を企業理念に、お客様企業の企業価値向上を目指している。従業員数16名。

も少ない。当社では請求書の電子発行も実現したいと考えていて、そのためのサービスを揃えていたことも導入の後押しになりました。

自社に求められる多くの管理項目に対応



00000	00	0000000000	00000
0000	000	00000000	00000000
00000	000	000000000000	000000
00000	00	000000000	00000000
00000	000	00000000	00000
00000	000	0000000	00000
000	00	000000000000	00000
00000	000	000000000000	00000000

管理項目が十分でなければ、
効率化やデータ連携ができない
リスクがあった。

導入効果

業務フロー可視化で得た気づきをもとに業務の見直しが加速
「もっとよいやり方」を模索する従業員の姿も



株式会社文華堂
大平 絵美氏

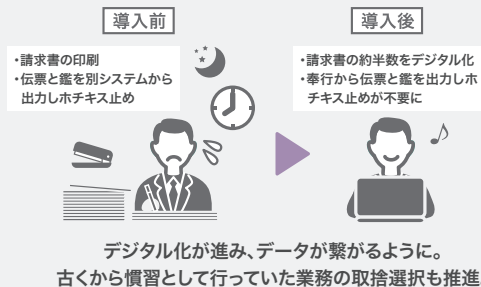
長年やってきた業務のやり方を変えるわけですから、やはり相応に苦労しました。業務のやり方が変わると聞いて困惑した従業員もいましたが、大切なのは「システムに業務を合わせていく」という覚悟だと思います。実際、奉行に業務を合わせていくなかでこれまでのやり方を変えなければならぬ業務も出てきました。例えば受注について、従来はお客様のお名前と商品名の両方をシステム上で表示していましたが、今後はどちらを表示するか選択が必要になりました。また、請求書については問い合わせ番号と請求書番号を別にする運用を

変えるべきか決断を迫られました。この他にも様々な決断が必要となりましたが、変えていい業務と変えるべきではない業務のやり方を精査する、という考え方のもとで導入を進めていきました。こうした考え方のもと、最終的に受注についてはお客様の名前を表示し、請求については問い合わせ番号と請求書番号を同一にする運用に変えることとなりました。

導入後には業務フローを可視化できたことで業務改善が進み、生産性向上を実現できています。受注については1日20枚程度あった手書きの印刷指示書をデジタル化でき、業務時間を1日1時間短縮。再注文であれば過去の注文データをそのまま活かせるようになり、手書きをなくせました。請求書作成については、従来は伝票と鑑を別々のシステムから出力していたためにホチキス止めが必要でしたが、奉行クラウドから両方の書類を出せるようになったことでホチキス止めがなくなり4時間の短縮に。請求書の約半数はデジタル化でき、法令対応などもスムーズです。DX化でデータがつながり情報連携もずいぶん進みました。印刷指示書の読み違えのリスクがなくなったほか、従来だと書類を探して対応していた見積り依頼や問い合わせについてはシステムで検索すれば即座に回答できるようになりました。

DX化でさまざまな変化がありましたが、一番驚いたのは経理担当者の年間労働時間が240時間も減っていたことです。業務時間の削減が漸次積み重なっていくとこのような驚くべき結果も得られるということでしょう。現在は業務の属人化をなくそうと業務の取捨選択を行っており、古くからの慣習でやってはいたものの「よく考えると知らないよね」となってやめた業務も出てきました。また、資料は紙ではなくデジタルで共有するようになっていきます。勤怠管理ほか従業員向けのDX化も進展するなかで「ほかによいやり方がないか」「デジタルで変えていこう」という空気が広がっているのも大きな成果ですね。

年間労働時間を240時間削減



今後の展望

従業員満足がお客様満足につながる。DX化でワクワクできる職場へ

当社は従業員満足がお客様満足につながると確信しており、ワクワクできる職場づくりや従業員同士のコミュニケーションの質向上などを目的としたDXにも取り組んでいます。例えばチャットの導入のほかシフトや健康診断の希望日時、アンケートの提出などでもデジタルを活用しています。もちろんリアルな報連相も大切ですが、チャットなど従業員が

気軽にコミュニケーションできる場を作ることも大変重要だと思います。

前述した通り、DX化の成果を実感したことで従業員のデジタル感度はだいぶ上がっていると思います。これからのお客様サービスや働きやすい職場づくりをデジタルでどのように進めていくか、心底ワクワクしているところです。

皆様の声から
生まれました！

奉行クラウドアップデート機能のご紹介

ユーザーの皆様のご意見、ご要望、お困り事をアップデートで改善しています！



奉行クラウドでは、ユーザーの皆様から寄せられたご意見やご要望、お困り事をもとに、機能を改善するアップデートを定期的に行っています。クラウドではアップデートが自動でされるため、最新の機能をすぐにご利用いただけます。奉行クラウドは担当者の皆様に寄り添い、業務で発生する「ちょっとした手間」をなくすことで効率化をサポートします。今回は、実際にお客様からいただいた声と、改善のためにどのようなアップデートを行ったのかをご紹介します。ぜひ、アップデート内容をご覧いただき、実際に使ってみて業務がスムーズに行えることを体感いただければと思います。

財務会計システム 勤定奉行クラウド

奉行AIアシスタント



たまにしか発生しない取引だと、仕訳作成時の勘定科目が合っているか不安。一般的な処理方法な処理方法が気になる…

取引の内容を奉行AIアシスタントに質問すると、一般的な仕訳内容を回答します。仕訳例を挿入し、そのまま伝票を起票することができるため、スムーズに入力を進めることができます。勘定科目や税区分が合っているか不安な時も奉行上で質問できるため、安心して経理業務を行うことができます。

■例：輸入の仕訳を質問

▼仕訳伝票入力-奉行AIアシスタント

AIが取引内容に合った仕訳を提案！
適切な勘定科目や税区分が分かります。



ほかにも
こんな時に
活用できます！

- 固定資産を売却した時の仕訳を教えて
- 減価償却費を計上するときの仕訳を教えて
- 保険料を前払いした時の仕訳を教えて
- 会議費と交際費の違いは？ など

部門別科目表示設定



製造部門と営業部門で勘定科目が異なり、入力ミスが心配。意図した科目で入力できていなかったことがある。

■今まで(インデックス入力時)

1	010	第一製造部		
	yohi			
	650	旅費交通費	ジョヒコワツ	製造経費
	740	旅費交通費	ジョヒコワツ	販売費及び一般管理
2				

製造部門であっても、
販管費科目が表示される…

部門別に表示する勘定科目を制限することで、勘定科目入力時のミスを防止できます。例えば、「旅費交通費」を製造部門と営業部門で分けている場合は、仕訳入力時に入力した部門と紐づけた勘定科目だけが表示されます。人的ミスを抑制し、今まで以上にはやく正確な損益を把握することができます。

▼部門別科目表示設定

科目区分	コード	勘定科目名	010 第一製造部
C1300	製造経費	650	旅費交通費
C1300	製造経費	651	通信費
C1300	製造経費	652	消耗品費
C1300	製造経費	653	水道光熱費
C1300	製造経費	654	保険料
C1300	製造経費	655	雑費

科目区分	コード	勘定科目名	001 第一営業部
P3000	販売費及び一般管理費	740	旅費交通費
P3000	販売費及び一般管理費	741	通信費
P3000	販売費及び一般管理費	742	消耗品費
P3000	販売費及び一般管理費	743	事務用品費
P3000	販売費及び一般管理費	744	水道光熱費
P3000	販売費及び一般管理費	745	保険料

■製造部門選択時

1	010	第一製造部		
	yohi			
	650	旅費交通費	ジョヒコワツ	製造経費
2				

■営業部門選択時

1	001	第一営業部		
	yohi			
	740	旅費交通費	ジョヒコワツ	販売費及び一般
2				

■例

製造部門は製造原価科目のみ入力を許可
営業部門は販管費科目のみ入力を許可

入力部門に適した勘定科目のみ表示されるように！
入力ミスの心配がなくなります。

奉行Edge 受領請求書DXクラウド

請求書自動アップロード



従業員が請求書を提出漏れしたことで、支払漏れがあったため未然に防ぐ仕組みを整えたい。
取引先から届いた請求書をそのまま支払に回したい。

請求書の収集から、支払処理・仕訳作成・電帳法対応まで一気通貫でデジタル化できる奉行Edge 受領請求書DXクラウドに自動アップロード機能が追加されました。取引先から届いた請求書がそのままサービス上にアップロードされるため、支払漏れの心配がなくなります。

■アップロード方法

手動アップロード・自動アップロード
デジタルインボイス受信

メールアップロード **NEW**

アップロードページ **NEW**

請求書の内容から仕訳を自動起票！
支払用のFBデータの作成まで行う
ことができます！

■メールアップロード

取引先からメールで送られてきた請求書が自動アップロードされます！

■アップロードページ

取引先が専用のアップロードページに請求書を添付すると、自動アップロードされます！

■保管・仕訳作成

▼銀行振込

▼証憑アップロード

奉行Edge 発行請求書DXクラウド

残高証明書の電子送付 ※1

商奉行やお手持ちの販売管理システムと連携し、請求書等の電子化が簡単に行える奉行Edge 発行請求書DXクラウドで残高証明書の電子送付に対応しました。請求書の電子化にあたって、得意先に送付が必要な残高確認書と一緒に電子化を行うことができます。

■ほかにもこんな帳票が電子化できます！

請求書／納品書※2／見積書※3／領収書※4／任意ファイル(上記以外の任意のPDFファイル)

※1 債権奉行クラウド・債務奉行クラウドが必要です。

※2 商奉行クラウドもしくは債権奉行クラウドシステムが必要です。

※3 商奉行クラウドシステムが必要です。

※4 債権奉行クラウドシステムが必要です。

得意先への請求書送付時に債権残高確認書と一緒に送付したい。請求書とは別ファイルで送付しているため、手間がかかる…



▼配信設定



■債権残高確認書の電子送付



Web公開

メール添付

個別配信の設定で、請求書と残高確認書はまとめて、納品書は納品書だけでまとめて送付等ができます！

添付ファイルの拡張



請求書と一緒に複数の帳票を配信したい。送信できるファイルの容量が足りない。

請求書と、請求書に同封したいPDFファイルを合わせて配信することができる機能の添付ファイル数とサイズ上限を拡張しました。

▼今まで

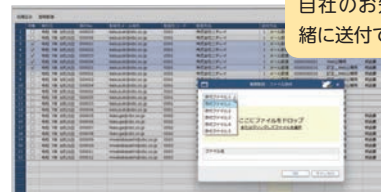
- 添付ファイル:1つ
- サイズ:2MBまで



▼アップデート後

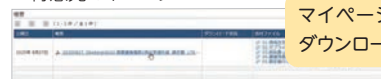
- 添付ファイル:5つ
- サイズ:20MBまで

▼帳票配信



自社のお知らせ等を一緒に送付できます。

▼得意先マイページ



マイページ上で簡単にダウンロードできます。

商蔵奉行クラウド 債権奉行クラウド 債務奉行クラウド

奉行Edge 受領請求書DXクラウド 奉行Edge 発行請求書DXクラウド

オリジナルフォーム



項目設定が複雑で使いこなすのが難しい。サポートに問い合わせしながら作成しているため時間がかかる…

オリジナルフォームのUXを向上し、直感的な入力ができるようになりました。お客様独自の請求書や納品書のフォームを簡単に作成することができます。

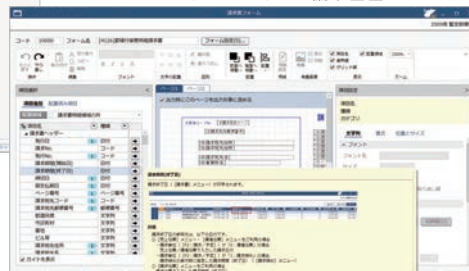
▼オリジナルフォーム-フォーム選択画面



フォーム選択時のプレビュー表示、リボンや項目設定を充実させました！オリジナルフォームの新規作成や修正が必要な場合に、迷わず簡単に操作ができます！

項目にカーソルを当てると、説明が表示されるため、どの項目が印字されるのかわかりやすくなりました！

▼オリジナルフォーム-フォーム編集画面



新登場! 入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド

蔵奉行V ERP11で提供していた「入出荷管理オプション」がついにクラウドでリリースしました!

入出荷管理
オプションって
何ができるの?

商品受注時の在庫引当 ※

出荷指示 ※

納入予定の管理

検収リストの確認

など

きめ細やかな在庫管理ができます!

※商奉行V ERPクラウドが必要です。

さらに!

クラウドならではの機能アップが追加されました!

●倉庫別の在庫評価

倉庫別の在庫締めや在庫金額を把握できる機能

●トレーザビリティレポート など

いつ、どこから、どこへ、誰のために在庫が動いたかを時系列や関連付きで追跡できる帳票

ムダやミスを防ぎ、より正確な在庫管理を実現します!

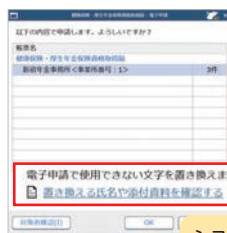
電子申請



電子申請時に、使用不可文字があると社員情報を一時的に修正して申請しないおさなければいけないため、大変。

電子申請時に使用不可文字(高、崎など)が含まれている場合、エラーが発生し、手修正、再申請と業務に手間がかかっていました。

アップデート後は、システムが自動的に代替文字に変換し、申請できるようになりました。これにより、これまでのエラー対応の業務がなくなりました。



システムが自動で使用不可文字を判断し、置き換えて申請。

画面：電子申請書（健康保険）の印刷画面です。

項目名	氏名	面商済	面商未済	添付書類
健康保険・厚生年金保険資格取得届				
新納年金事務所<事業所番号>1>				
被保険者氏名	葛城 一郎	高	高	-
被保険者氏名	山崎 清雄	高	高	-
被保険者氏名	夢野 たけし	高	高	-

使用不可文字が含まれている場合も、修正の手間なく一度の実行で電子申請が完了します!



添付書類もPDF形式で
作成・添付されます!

使用できない文字について

電子申請で使用できない文字が含まれるため、下記のように文字を置換して申請いたします。

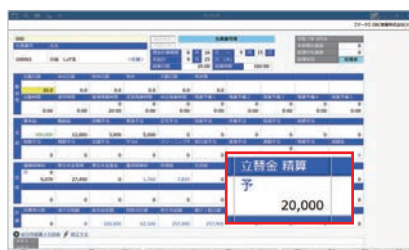
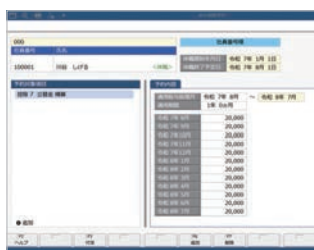
項目名	氏名（申請）	氏名（定）	姓・名字
経理担当者氏名	姓姓 一姓	姓姓 一姓	姓
経理担当者氏名	山崎 清隆	山崎 清隆	崎
経理担当者氏名	数橋 たけし	数橋 たけし	橋

明細書予約 ※給与奉行V ERPクラウドのみの機能です。



休職期間中に会社で立替えた住民税を1年で分割徴収するため、給与明細書を予約して漏れなく業務を行いたい。

年末調整の分割徴収をした際や、休職から復帰後の立替金の清算、繁忙期のみに支給する手当など、一定期間の明細書の金額を変更したい際に予約ができるようになりました。これにより、給与計算での業務の漏れやミスが削減されます！



一定期間の明細書の金額を変更したい際に予約をし、漏れなく管理ができるようになりました！



給与奉行V ERP11に搭載されていましたが、給与奉行クラウドでは搭載されていなかった機能です。オンプレミスからクラウドへ移行された方の機能の追加要望も取り入れています!

 奉行Edge 給与明細電子化クラウド

明細書英語対応



外国人労働者向けに、外国語の明細書を従業員に配付したい。

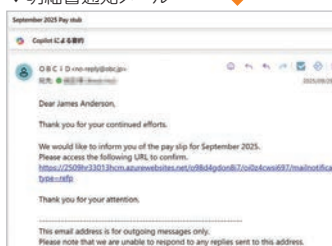
外国人労働者向けに給与明細書を作成する際、英語表記にできる明細書の項目に制限があったり、メールやWeb画面は日本語仕様となっていました。

アップデート後は、明細書のすべての項目の英語対応が可能になり、メールやWeb画面も英語でご確認できます。

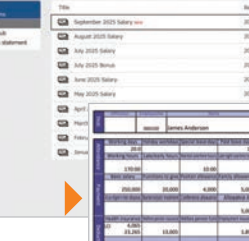
▼社員情報

給与・賞与明細書の表示言語	1	英語
---------------	---	----

▼明細書通知メール



▼明細書確認画面



Oracle Cloud Edge

Release Date

[Home](#)
[My Account](#)
[My Subscriptions](#)
[My Billing](#)
[My Support](#)
[My Settings](#)

[Play Store](#)
[Release statement](#)

Title	Release date
September 2023 Safety view	2023/09/29
August 2023 Safety view	2023/08/29
July 2023 Safety view	2023/07/29
July 2023 Service	2023/07/19
June 2023 Safety view	2023/06/29
May 2023 Safety view	2023/05/29

[Details](#)
[Release statement](#)

Release date	Version	Details
2023/09/29	23.0.0	Details
2023/08/29	22.0.0	Details
2023/07/29	21.0.0	Details
2023/07/19	20.0.0	Details
2023/06/29	19.0.0	Details
2023/05/29	18.0.0	Details

▼給与明細書

社員情報で設定を変更するだけで、通知メールから、明細書の確認画面まですべて英語で確認できます。

給与計算システム 給与奉行クラウド 総務・人事・労務業務システム 総務人事奉行クラウド

資格確認書



マイナ保険証の開始に伴い従業員やその家族に、資格確認書を発行したかどうかを管理したい。

マイナ保険証の開始に伴い、資格確認書を発行したかの管理をする必要ができました。今回のアップデートで従業員とその家族の資格確認書の発行有無を登録できるようになりました。これにより、退職・転勤・扶養の変更などがあつた際にも正しく管理ができるようになります。

社員情報に新たな管理項目を追加!
資格確認書の発行管理で、退職時の回収漏れを防げます。

[illegible]

奉行Edge 労務管理電子化クラウド

申請メニュー



労務関係の申請は申請書の種類が多く、必要な申請書を探すのに時間がかかってしまう。

引越しをした際などに必要な申請書が複数あり、申請漏れや申請ミスが発生している状況でした。アップデート後は、担当者が任意のカテゴリー・メニュー順の表示設定ができるようになりました。これにより、直感的な操作はもちろん、申請書の漏れやミスの削減もできるようになりました。



ドラッグアンドドロップで簡単にメニュー配置を変更できる!

カテゴリーごとに分かれているため、すぐに申請書を探すことができ、申請漏れやミスを防ぎます!

ご好評だった

過去アップデート

最新のアップデート内容についてご紹介しましたが、これまでのアップデートでも多くのお客様からご好評いただいた機能がいくつかございます。

今回はその中から、特に反響の大きかった機能をピックアップしてご紹介いたします!



奉行Edge 給与明細電子化クラウド



紙で給与明細書が欲しい従業員向けに、1人ずつPDFを保存、印刷することが大変。

これまでは、明細書を紙で必要な従業員に対して、1人ずつPDFを保存し、印刷していました。アップデート後は、印刷したい従業員にチェックをつけて、一括で印刷することができるようになりました。

▼明細書状況確認



社員番号	氏名	状況	明細書公開日時
☒ A10004	新井 満雄	予約中	2025/04/25 00:00
☐ A10005	森田 徳治	予約中	2025/04/25 00:00
☐ A10006	加藤 悠子		
☐ A10007	田中 敬夫		
☐ A10008	藤川 光男		
☐ A10009	福岡 晴夫		
☐ A10010	森岡 信夫		
☐ A10011	森沢 公彰		
☒ A10012	岡井 英治		
☒ A10013	山田 静夫		
☐ A10014	平光 浩一	予約中	2025/04/25 00:00
☐ A10015	福井 和家	予約中	2025/04/25 00:00

印刷が必要な従業員をまとめて印刷することが可能!



給与奉行クラウド



勤務人事奉行クラウド



奉行Edge 勤怠管理クラウド



特定の従業員を絞り込んだ帳票の出力ができず、確認や集計が大変。

これまでは、連続する社員のデータのみ絞り込んで出力ができていました。アップデート後は、必要な従業員のみ選択し出力ができるようになりました。

▼給与明細書



出力が必要な従業員のみ、選択ができるように!



奉行Edge 勤怠管理クラウド



アラート通知で申請書の提出、残業の抑制、有休の取得を促すも、申請漏れや残業時間の超過、有休未取得が発生している。

これまでは、申請書の提出、残業の抑制、有休の取得について、アラート通知によって一時的に従業員へ注意喚起することはできていました。しかし、時間の経過とともに従業員が対応すべき事項を忘れてしまい、申請書の未提出、残業時間の超過、有休の未取得といった問題が発生していました。アップデート後は、従業員の打刻画面にこれらの情報が常に表示されるので、継続的な周知が可能となり、時間が経過しても従業員がやるべきことを忘れずに対応できるようになります。



打刻画面で未申請／累計残業時間／有休取得の状況が常に表示できるようになりました。



奉行クラウドを使っていてお困り事はありませんか?

ユーザーの皆さまからの声を募集します!

奉行クラウドはこれからもユーザーの皆様の声をもとに、機能のアップデートを実施します。

「こんな機能があったら便利」「○○(具体的なメニューの名称)をもっと使いやすくしてほしい」など、細かなことでも構いません。奉行クラウドをご利用いただいている担当者の皆様の声が奉行クラウドをより良くするヒントになります。

日々の業務の中で、機能に関するご意見、ご要望、お困り事のある方は最終ページのアンケートからご記入ください。

ぜひ、あなたの声をお聞かせください!



あなたの、御社の歴史を紐解く

家系図、

記念誌

作ります



文華堂公式HP

創業明治元年



株式会社 文華堂

URL <https://www.bunka-do.com/>

〒730-0042 広島市中区国泰寺町2-5-3

TEL 082-241-2415 担当：森本

営業時間／平日 9:00～18:00

休日／土曜日・日曜日・祝日

